

2003 年 12 月 16 日

6 . 貨幣市場

授業 火曜 1 時限

オフィスアワー 火曜 2 時限

マクロ経済で習うこと

中心は GDP

(支出の内訳)

$GDP = 消費 + 住宅投資 + 設備投資 + 在庫投資 + 公共投資 + 政府支出 + 輸出 - 輸入$

(時系列)

$GDP = 経済成長 + 景気循環$

市場	生産物市場	貨幣市場	労働市場
供給	企業	マネーサプライ	労働者 (失業率)
需要	消費・投資	貨幣需要	企業
価格	物価 (消費者物価 卸売物価)	利子率 (国債利回り)	賃金 (雇用者所得)

教科書では、第 8 章「金融市場を分析する」

貨幣

マルクスはどこかで、商品世界のなかにおける貨幣の存在は、動物世界の中でライオンやトラやその他すべての現実の動物たちと並んで「動物」なるものが闊歩しているように奇妙なものだと書いている。(岩井克人『ヴェニス商人の資本論』)

物々交換から貨幣へ

- ・リンゴと魚

・リンゴを売りたいと魚が欲しい人と魚を売りたいとリンゴが欲しい人がいないと成り立たない。(欲望の二重一致)

まず誰もが買ってもらえるもの(米、塩)に替える

- ・リンゴを売って米を買う 米を売って魚を買う。

貨幣の形

石・米・塩 金、銀 紙、電子マネー

貨幣の機能

()

誰でも受け取ることを拒否しない貨幣は、間接交換を可能にした。

()

さまざまな財やサービスの価値を数量的に比較可能にした。

()

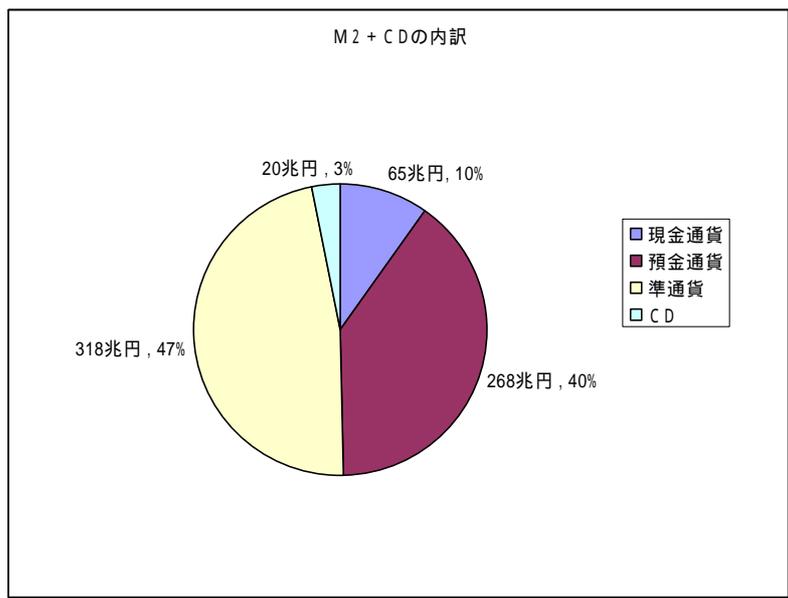
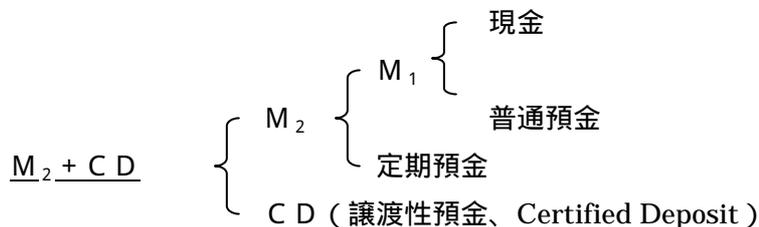
貨幣がいつでも誰でも受け取ってくれるため、交換の場を空間だけでなく時間にも広げた。

貨幣の定義

一般的な貨幣の定義 1 万円札、500 円玉など

経済学の貨幣の定義 ()
通貨とも呼ぶ。

マネーサプライ (貨幣供給量) の種類



貨幣を供給する主体

中央銀行 外部貨幣 ハイパワードマネー
現金通貨 + 日銀預け金 (準備預金)
民間銀行 内部貨幣 預金

銀行のしくみ

利子

預金金利と貸し出し金利

預金金利 りそな普通預金 0.001%

貸出金利 銀行 13.375% (消費者金融 27.375%)

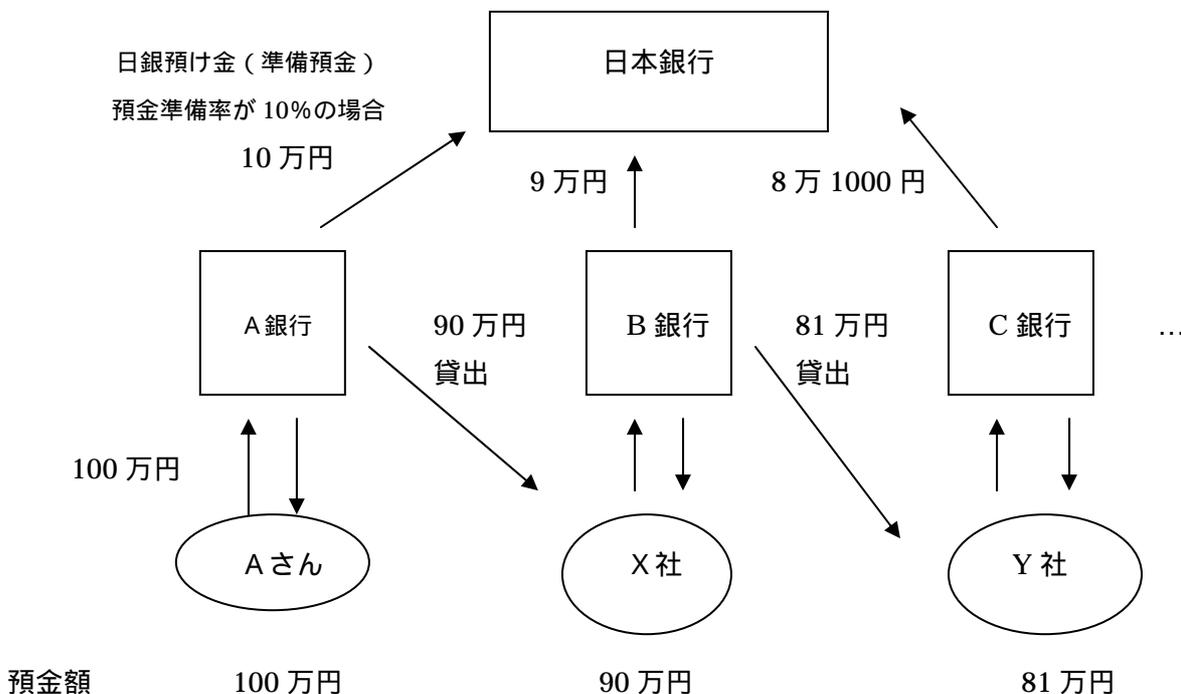
利子は「時間を買う」ものまたは「我慢料」

- ・ 買いたいものを買うのを我慢して貯金する 利子がつく
- ・ 1年後までに貯まる(はず)のお金を先取りして今買う

預金は現金通貨のように流通する。

預金準備率 = 銀行が預かった預金のうち、日本銀行に預けなければならない比率。

預金準備率が 10% の時、銀行が預金を 1000 万円預かったとしたら、100 万円は日本銀行に預ける必要がある。



全部あわせると、 $100 + 90 + 81 + \dots =$ 約 1000 万円になる

信用創造 銀行の信用によって、預金がどんどん増えていくこと。

信用乗数 本源的預金が何倍増えるか。

$$C (\text{信用乗数}) = D (\text{預金}) / \times D_0 (\text{本源的預金})$$

$$C (\text{信用乗数}) = 1 / r (\text{預金準備率}) \text{ の関係にある。}$$

練習問題 5

問 2

消費の理論に関する記述のうち、妥当なものはどれか。【国家 種・平成 9 年度】

1 デューゼンベリーの相対所得仮説においては、個人の消費活動は、現在の所得だけではなく、将来に達成したい消費水準に依存して決まる。したがって、この仮説の下では、短期的な所得の減少が生じた場合、所得の減少額以上に消費は減少する。

2 クズネッツ型の消費関数によると、所得の増加により平均消費性向は低下する。しかし、ケインズによる長期の時系列データの分析によると、平均消費性向は所得の増加に対して、ほぼ一定であることが示されている。

3 フリードマンの変動所得仮説においては、自己の所得獲得能力により決定される恒常所得よりも、景気変動のような自己の所得獲得能力とは独立の一時的要因によって決定される変動所得により、個人の消費活動が決定される。

4 実質資産の増加が消費の増大をもたらす場合、実質資産の増加は LM 曲線を左方にシフトさせ、所得や雇用の均衡水準を減少させる傾向を持つ。この効果をケインズ効果という。

5 モディリアーニらが唱えたライフサイクル仮説においては、個人の消費活動はその個人が一生の間に消費することができる所得の総額の大きさにより決定される。この仮説は、遺産動機や寿命の不確実性を考慮し、より現実的なモデルにすることができる。

4 は間違い。

問 3

以下の問に対し、最も適切な答えを 1 つ選んで、その記号 (A ~ C) を記入しなさい

消費のライフサイクル仮説に関する記述のうち、誤っているものはどれですか。【証券アナリスト、平成 10 年】

- A 合理的に行動する消費者は、現時点の所得のみを制約として現在消費を決めるのではなく、一生涯を通じた所得の流列を考慮しながら、生涯の消費パターンを決める。
- B ライフサイクル仮説を前提とすると、永続的な減税よりも現時点だけの一時的な減税の方が、現時点での消費刺激効果が強い。
- C ライフサイクル仮説が意味を持つためには、若年時にも、将来所得を担保にして望むだけの借入れが可能でなければならない。

問 4

マクロ投資理論に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。【地方上級・平成5年度】

- 1 加速度原理では、投資は生産量の変化に比例し、望ましい資本ストックの量とは無関係に投資が変化する。
- 2 新古典派の投資理論では、資本のレンタルコストとは独立に望ましい資本ストックの量が決定される。
- 3 資本ストック調整原理によると、望ましい資本ストックの量は現実の資本量に依存して決定される。
- 4 ケインズの投資理論によれば、利子率が資本の限界効率を上回る限り投資が行われる
- 5 トービンのq理論によると、企業の株式総額が企業の資本設備などの再取得価格を上回る限り投資が行われる。

問 5

投資の変動と株式市場の変動のつながりを説明する「トービンのq」に関して最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。【中小企業診断士】

- a 設置済みの資本の市場価値を設置済みの資本の再取得費用で除した値。
- b 資本の現在の収益性を反映している。
- c 将来の期待される収益を反映している。
- d 「トービンのq」が1より小さいと、新規投資を行うことで企業価値が増加する。

- 1 a と b と c
- 2 a と b と d
- 3 a と c と d
- 4 b と c と d

マネーサプライの管理

マネーサプライを管理するのは、日本銀行の役目。

ハイパワードマネー（日本銀行が自由に動かせるお金

= マネタリー・ベース = ベースマネー）

ハイパワードマネー = 現金通貨 + 預金通貨

貨幣乗数

ハイパワードマネーが何倍マネーサプライを増やすか

C （貨幣乗数） = M （マネーサプライ） / H （ハイパワードマネー）

M =

H =

マネーサプライと GDP の関係

貨幣数量式 (フィッシャーの交換方程式)

$$MV = PT$$

M 貨幣量 (世の中にあるお金の量)

v 貨幣の流通速度

P 物価

T 取引回数

リンゴの値段が 100 円、取引回数が 30 回だと 3000 円分お金が動いたことになる。

貨幣量が 1500 円だとすると

貨幣の流通速度は？

ケンブリッジ方程式

フィッシャーの交換方程式の v を右辺に持ってくる

$$M = (1/V)PY$$

$1/V = k$ とすると、

$$M = kPY \quad (\text{ケンブリッジ方程式})$$

GDP が貨幣の取引量に比例すると考えると、

$$M = k \times GDP$$

M をマネーサプライと考えると、GDP とマネーサプライが比例する式になる。

$$GDP = M / k$$

となるので、マネーサプライを規則正しく増加させていけば、GDP のそれに比例して増加する。(マネタリズムの考え方)

公式

名前	公式	
貨幣数量式 (フィッシャーの交換方程式)	$MV = PT$	V を定義するための式。
ケンブリッジ方程式	$M = k \times GDP$	貨幣量と GDP の間には比例的な関係がある。
マネーサプライ	$M = C + D$	世の中に流通しているお金
ハイパワードマネー (外部貨幣)	$H = C + R$	日本銀行が管理できるお金
信用乗数	$D = c \times D_0$ $c = 1 / r$ (預金準備率)	もともとの預金(本源的預金)が何倍の預金を生むか
貨幣乗数	$M / H = C + D / C + R$	ハイパワードマネーがどれだけマネーサプライを生むか